

全国学力・学習状況調査の結果分析および今後の取組について

東広島市立平岩小学校

1 全国学力・学習状況調査の結果と分析

	国語科平均正答率(%)	算数科平均正答率(%)	理科平均正答率(%)
東広島市立平岩小学校	69	62	63
広島県(公立)	69	59	59
全国(公立)	66.8	58	57.1

国語科

○国語科の本校正答率は、全国平均を約2ポイント上回り、広島県と同等の正答率でした。全体的に国語科の力は概ね定着していると言えます。

(正答率の低かった問題)

- ・事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基におさえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題(正答率 54.2%)
- ・目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして、必要な情報を見付ける問題(正答率 47.5%)
(正答率 39%)

(今後の取組)

- ・二つの文章を比較し、共通点や相違点を整理しながら自分の考えを形成していく学習の時間を確保します。
- ・たくさんの資料の中から、それぞれの資料の要点を理解し、自分の考えを説明するために必要な資料を基に自分の考えを書く場面を設けます。
- ・音読、読書などに取り組ませ、長い文章を読むことに慣れるようにしていきます。

算数科

○算数科の本校正答率は、全国平均、県平均ともに上回っていました。全体的に算数科の力は概ね定着していると言えます。

(正答率の低かった問題)

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題(正答率 35.6%)
- ・基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述する問題(正答率 39%)
- ・分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数とその単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述する問題(正答率 28.8%)
- ・10%増量の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表す問題(正答率 39%)

※全体的に記述式の問題の正答率が低い。

(今後の取組)

- ・問題を解くだけでなく、なぜその式になるのか、どのようにして求めることができるのかなど、自分の考えを説明する時間を確保します。その際、ペアトークやディスカッション等を通して対話的な学びの時間を確保し、よりよい説明ができるようにしていきます。
- ・ICTなどを活用し、それぞれの問題場面を具体的にイメージできるようにしていきます。さらに、多様な方法で問題解決ができる場면을仕組んでいきます。
- ・「割合」の考え方が苦手な児童が多いため、帯タイムや家庭学習などで復習に取り組むようにします。

理科

○理科の本校正答率は、全国平均、県平均とともに上回っていました。全体的に理科の力は概ね定着していると言えます。

(正答率の低かった問題)

- ・電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題（正答率 39.0%）
→電気についての既習知識が実際の生活場面の中で、どのように取り入れられているかを考えていくことが必要。
- ・種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現することができるかどうかをみる問題（正答率 35.6%）
→既習知識を基にして、新たな課題や問題を自分の力で見出し、解決していくという経験が必要。

(今後の取組)

- ・日々の授業の中で、自分たちで課題を設定する場面を意図的につくり、学習を進めていきます。
- ・実験や観察を行った後の結果からどのようなことが分かるのかについて個々が考える場面を多く仕組んでいきます。
- ・授業で得る理科的知識が、単なる知識で終わることなく、日常生活と関連付けて考えることができる汎用的知識にしていけるような単元構成にしていきます。

2 児童質問紙（特に注目する内容）

肯定的な回答をした児童の割合（％）

項 目	平岩小	広島県	全国
学校に行くのは楽しいと思いますか。	91.2	85.1	86.5
将来の夢や目標を持っていますか。	82.5	86.6	86.5
自分にはよいところがあると思いますか。	93.0	88.1	86.9
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	94.7	86.5	84.9

○上の表の結果から、学校に行くことに肯定的な思いをもっている児童が多いことが分かります。また、自分の良いところを理解していること、学習の中で自ら考えて学習を進めていくことに対しても、広島県や全国の平均値と比較するかなり高い結果となっています。本校の6年生児童は、自己肯定感が高く、共感的な人間関係を通して学習をすることの大切さを理解していると言えるでしょう。

しかしながら、将来の夢や目標をもって生活していくことに肯定的な児童の割合は、広島県や全国の平均値と比較すると若干低い結果となりました。

(今後の取組)

- ・授業の中で、自ら計画を立て、調べたり考えたりする学習や、友だちとの「学び合い」を軸とした学習などを取り入れ、自主的な学習の力や、多様な考えを取り入れ、深めていく力を育てていける授業を展開していきます。
- ・構成的グループエンカウンター等の取組を学級活動に取り入れて、お互いに認め合い、協力し合う学級づくりを進めていきます。
- ・児童自身に目標を立てさせて、その目標に向かって努力を積み重ねていく学習を進めます。
- ・将来の社会的自立・職業的自立に向けて、「なりたい自分」をイメージし、それに向けて逆向き設計のできるキャリア教育の充実に取り組みます。